

第 29 回北方領土隣接地域振興対策根室地域協議会

令和 4 年 11 月

1 議 題

「第 8 期北方領土隣接地域の振興及び住民の生活の安定に関する計画」の重点施策に係る
令和 4 年度実施計画の一部変更について

2 審議資料（別添）

- (1) 令和 4 年度実施計画（一部変更）
- (2) 令和 4 年度実施計画変更箇所一覧表

第29回北方領土隣接地域振興対策根室地域協議会委員名簿

1 委員

団 体 名	職 名	氏 名	備 考
根室市	市長	石 垣 雅 敏	
別海町	町長	曾 根 興 三	
中標津町	町長	西 村 穰	
標津町	町長	山 口 将 悟	
羅臼町	町長	湊 屋 稔	
北海道北方領土対策根室地域本部	本部長	岡 嶋 秀 典	

2 事務局

団 体 名	職 名	氏 名	備 考
北海道北方領土対策根室地域本部	副本部長	須 田 光 政	
北海道北方領土対策根室地域本部	北方領土対策室長	長 田 尚 人	
北海道北方領土対策根室地域本部	北方領土対策室 主幹(連携推進)	加 藤 靖 人	
北海道北方領土対策根室地域本部	北方領土対策室 主査	西 章 良	
北海道北方領土対策根室地域本部	北方領土対策室 主事	佐 々 木 翔 也	

令和4年度実施計画変更箇所一覧表

	施策の基本的な柱及び施策項目	項 目	変更内容
根室市	社会・経済の安定的な発展の基盤の形成	2. 計画終了時点（R4年度）の目標	新規目標「児童生徒用防災ヘルメットの整備率（100%）」を追加。
	災害対策の推進	3. 目標設定に向けた事業の展開方向	「こども防災・減災推進事業（加速化補助金）」を上記目標設定に向けた事業として追加。
中標津町	社会・経済の安定的な発展の基盤の形成 災害対策の推進	3. 目標設定に向けた事業の展開方向	既設目標「災害拠点病院数（現状維持）」の目標設定に向けた事業として「町立中標津病院病棟シャワー室修繕事業（加速化補助金）」を追加。
羅臼町	地域の資源を活かした交流人口の拡大	3. 目標設定に向けた事業の展開方向	既設目標「観光客入込数（600千人/年）」の目標設定に向けた事業として「コロナ禍における羅臼町内イベントの創出事業（加速化補助金）」を追加。

市町名	根室市
-----	-----

施策の基本的な柱	社会・経済の安定的な発展の基盤の形成
施策項目	災害対策の推進

1. 目指す姿

国の地震の長期評価や、北海道から津波浸水予測が示され、津波災害の被害を最小限に食い止めるため「減災」の考え方を基本とした対策を早急に推進し、情報伝達手段の強化による迅速な避難体制や自主防災組織の活動体制等を構築することにより、地域防災力の向上を図り、災害に強いまちづくりを推進する。
また、市民と行政が一体となった消防・救急体制が確立したまちづくりを推進する。

2. 計画終了時点（R4年度）の目標

<目標> 市内救急出動の救急救命士の乗車率(100%)

<重点施策> 防災訓練の実施、ハザードマップの整備など防災体制の充実・強化

■設定目標及び達成状況 (単位:%)

区分	7期	8期					
	H29 (実績)	H30 (実績)	R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (目標) (実績見込み)		R4 (目標)
救急救命士乗車率	98	97	97	98	99	98	100

■目標設定の考え方

市内救急出動の全ての救急車に救急救命士が乗車することを目標

<目標> 防災行政無線の整備率(100%)

<重点施策> 防災行政無線のデジタル化等の整備の推進

■設定目標及び達成状況 (単位:%)

区分	7期	8期					
	H29 (実績)	H30 (実績)	R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (目標) (実績見込み)		R4 (目標)
防災行政無線の整備率	0	0	0	50	100	100	100

■目標設定の考え方

既存の防災無線は、電波法の改正により使用できなくなることから、改正電波法に対応した無線機(デジタル方式)の整備を令和3年度中に完了させる。

<目標> 地域で実施する防災事業(41回)

<重点施策> 住民に対する防災情報の伝達手段の充実や、防災知識普及のための各種講習会の開催、防災活動リーダーの育成支援などの取組の推進

■設定目標及び達成状況 (単位:回)

区分	7期	8期					
	H29 (実績)	H30 (実績)	R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (目標) (実績見込み)		R4 (目標)
防災事業	38	39	39	11	40	14	41

■目標設定の考え方

第7期振興計画期間中の最大実績を勘案の上設定

<目 標> 自主防災組織の結成率の増(74%)

<重点施策> 地域での防災力の強化に向けた自主防災組織などの育成の推進

■設定目標及び達成状況 (単位:%)

区分	7期	8期					
	H29 (実績)	H30 (実績)	R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (目標) (実績見込み)		R4 (目標)
自主防災組織 結成率	67	68	68	68	73	68	74

■目標設定の考え方

第9期根室市総合計画における目標値を勘案の上設定

<目 標> 児童生徒用防災ヘルメットの整備率(100%)

<重点施策> 防災資機材、非常用食料などの備蓄や確保への取組の推進

■設定目標及び達成状況 (単位:%)

区分	7期	8期					
	H29 (実績)	H30 (実績)	R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (目標) (実績見込み)		R4 (目標)
児童生徒用防 災ヘルメットの 整備率	0	0	0	0	61	61	100

■目標設定の考え方

令和3年度に小学校児童へ、令和4年度に中学校生徒への整備を完了する。

3. 目標設定に向けた事業の展開方向

目 標	事業の展開方向	目標達成に向けた主な事業
救急救命士の 乗車率 (100%)	○令和4年度まで4名 養成し、有資格者を 増員することで、乗車 率の向上を図る。	救急救命士養成事業(市単独事業) 救急救命士研修所へ年間1名職員を派遣し救急救命士 の乗車率を増加させ、市民サービスの充実を図る。
防災行政 無線整備 (100%)	○同報系デジタル防災 行政無線の整備及び 移動系アナログ防災 行政無線の更新を図 る。	防災行政無線整備事業 (漁港漁村活性化対策事業費補助金・北方領土隣接地域振興 等事業推進費補助金) 同報系デジタル防災行政無線を整備するとともに移動系 アナログ防災行政無線設備を更新することにより情報伝達 及び通信手段の確保を図る。
地域で実施する 防災事業 (41回)	○防災意識の啓発を行 うとともに、地域防災 訓練の支援を行う。	防災対策事業(加速化補助金) コミュニティFMによる防災啓発番組や訓練放送を行うこ とにより、災害時の重要な情報収集手段の1つとしての認識 を深め、情報伝達体制の構築を図り、また、放送を通じて 防災啓発を行うことにより地域防災力の向上を図る。 防災対策推進事業(加速化補助金) 防災講演会などの開催や、地域防災訓練の支援を行う ことにより、地域が主体となり実施する取組みを推進し、地 域防災力の向上を図る。
自主防災組織 結成率 (74%)	○自主防災組織の結成 の促進を図る。	自主防災組織活動活性化促進事業(市単独事業) 自主防災組織の必要性の啓発や事例紹介、手引書の 配付などによる結成促進や、助成金の交付や地域防災推 進員により活動活性化を図る。
児童生徒用防 災ヘルメットの 整備率 (100%)	○児童生徒用防災ヘル メットの整備率の向上 を図る。	こども防災・減災推進事業(加速化補助金) 児童生徒用防災ヘルメットを整備することにより、地震発 生時の児童生徒の安全の確保や防災意識の向上、防災 教育の効果的な実施を図る。

市町名	中標津町
-----	------

施策の基本的な柱	社会・経済の安定的な発展の基盤の形成
施策項目	災害対策の推進

1. 目指す姿

地域防災計画に基づき、災害時の被害を最小化にする「減災」の考え方を基本方針とし、防災拠点となる公共施設の整備や防災体制の整備強化を図るとともに、災害教訓の伝承や防災教育の推進により住民の防災意識や地域防災力の向上に努める。

2. 計画終了時点（R4年度）の目標

<目標> 指定避難所兼指定緊急避難場所数及び災害拠点病院数(同数の維持)

<重点施策> 避難施設や避難路など防災施設等の整備の推進

■設定目標及び達成状況 (単位:件)

区分	7期	8期					
	H29 (実績)	H30 (実績)	R1 (実績)	R2 (実績)	R3		R4 (目標)
					(目標)	(実績見込)	
指定避難所等箇所	28	31	31	31	31	31	31
災害拠点病院数	1	1	1	1	1	1	1

■目標設定の考え方

現状維持を目標として設定

<目標> 日頃から家庭で災害への備えをしている町民の割合(62.0%)

<重点施策> 住民に対する防災情報の伝達手段の充実や、防災知識普及のための各種講習会の開催、防災活動リーダーの育成支援などの取組の推進

■設定目標及び達成状況 (単位:%)

区分	7期	8期					
	H29 (実績)	H30 (実績)	R1 (実績)	R2 (実績)	R3		R4 (目標)
					(目標)	(実績見込)	
災害への備えをしている町民の割合	37.2	40.0	46.9	57.4	77.0	50.6	62.0

■目標設定の考え方

「第7期中標津町総合計画」における目標値を勘案の上設定

<目標> 防災資機材の整備率(R4までに97%、R5までに100%)

<重点施策> 防災資機材、非常用食料などの備蓄や確保への取組の推進

■ 設定目標及び達成状況

(単位:%)

区分	7期	8期					
	H29 (実績)	H30 (実績)	R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (目標) (実績見込)		R4 (目標)
資機材の整備率	80.0	74.0	79.9	87.1	94.0	90.4	97.0

■ 目標設定の考え方

「中標津町災害時備蓄計画」における目標値を勘案の上設定

3. 目標設定に向けた事業の展開方向

目 標	事業の展開方向	目標達成に向けた主な事業
指定避難所兼 指定緊急 避難場所数・ 災害病院数 (現状維持)	○既存建築物の耐震化 や災害拠点病院の防 災設備の改修・指定 避難所の老朽設備等 の改修を図る。	町立中標津病院非常用設備等更新事業(推進費補助金) 北海道の地域災害拠点病院である町立中標津病院の非常用発電設備のスイッチ交換、水冷ヒートポンプ系統冷却塔更新、非常業務放送設備の更新を行い、災害拠点病院としての機能向上を図る。
		町立中標津病院設備修繕事業(推進費補助金) 北海道の地域災害拠点病院である町立中標津病院の3・4階病棟北側窓の改修、医療ガス設備修繕を行い、災害拠点病院としての機能向上を図る。
		中標津町総合体育館床補修事業(推進費補助金) 指定避難所としての機能維持を目的として、避難施設に位置付けられている中標津町総合体育館の床板の補修を行う。
		町立中標津病院災害用備蓄食料整備事業(加速化補助金) 北海道の地域災害拠点病院である町立中標津病院の備蓄食料(アルファ米)の更新を行う。
		町立中標津病院病棟シャワー室修繕事業(加速化補助金) 北海道の地域災害拠点病院である町立中標津病院の病棟シャワー室の換気ユニット取替、脱衣室クロスの貼替修繕を行い、災害拠点病院としての機能向上を図る。
		日頃から家庭で 災害への備えを している 町民の割合 (62.0%)
防災資機材 整備率 (97%)	○行政備蓄として災害 応急対策に必要な 防災資機材等を整 備する。	防災備蓄品等整備事業(地域づくり総合交付金) 住民による自助・共助の理念による家庭内備蓄を促すほか、公助による備蓄品・資機材の整備を進める。

市町名	羅臼町
-----	-----

施策の基本的な柱	地域の資源を活かした交流人口の拡大
施策項目	地域の資源を活かした交流人口の拡大

1. 目指す姿

世界自然遺産「知床」の知名度を生かし、ホエールウォッチング、北方領土視察及び体験型観光の推進と定着を図ることにより、観光客入込とリピーターを増大し、通過型観光から滞在型観光へと脱却を図る。

2. 計画終了時点（R4年度）の目標

<目標> 観光客入込数(600千人/年)

<重点施策> ①通年型・滞在交流型観光への転換に向けた近隣地域との広域的なネットワークの形成、海洋ルートを含めた周遊型観光ルートの構築、観光メニュー作成に向けた取組の推進
 ②「地方空港を活用した教育旅行誘致の連携と協力に関する協定」に基づく教育旅行の誘致とそのため受入体制の整備の推進

■設定目標及び達成状況 (単位:千人)

区分	7期	8期					
	H29 (実績)	H30 (実績)	R1 (実績)	R2 (実績)	R3		R4 (目標)
					(目標)	(実績見込)	
観光客入込数	552	509	546	269	590	270	600

■目標設定の考え方

H27～H29の3ヶ年平均入込客数及び伸び率を勘案の上設定

<目標> 修学旅行訪問校(15校)

<重点施策> 「地方空港を活用した教育旅行誘致の連携と協力に関する協定」に基づく教育旅行の誘致とそのため受入体制の整備の推進

■設定目標及び達成状況 (単位:校)

区分	7期	8期					
	H29 (実績)	H30 (実績)	R1 (実績)	R2 (実績)	R3		R4 (目標)
					(目標)	(実績見込)	
修学旅行訪問校	4	4	11	4	13	11	15

■目標設定の考え方

内閣府の成果目標などを勘案の上設定

3. 目標設定に向けた事業の展開方向

目 標	事業の展開方向	目標達成に向けた主な事業
観光客 入込数 (600千人)	○観光客の増加を図るとともに、通過型観光から滞在型観光への転換に向け、道内外でのPR活動等を行う。	誘致PR活動事業及び道内外でのPR活動（観光協会実施事業）
		首都圏開催での商談会などに参加し、羅臼の魅力をPRすることで観光客拡大を図る。
		知床羅臼体験型観光の推進事業（加速化補助金）
		当町の地域特性や恵まれた自然環境などの豊富な観光資源を活かした体験型観光などを掲載したパンフレットを道内外のイベントなどで配布し、当町への観光客拡大を目指す。
		HPを活用したPR事業（観光協会実施事業）
		知床羅臼町観光協会のHP等の情報を更新し、羅臼町の魅力を全国に向け発信する。
修学旅行 訪問校 (15校)	○道内外からの修学旅行訪問客拡大に向けPR活動を行う。	コロナ禍における羅臼町内イベントの創出事業（加速化補助金）
		コロナ禍で様々なイベントが中止となっていることから、アフターコロナでの地域イベント復活と観光客誘致の契機とするため花火大会を実施する。
		誘致PR活動事業及び道内外でのPR活動（知床羅臼町体験学習推進協議会事業）
		首都圏開催での商談会などに参加し、羅臼の魅力について、パンフレット等を活用してPRを行い、道内外から当町への修学旅行訪問拡大を目指す。
		根室管内教育旅行誘致推進事業（加速化補助金）
		根室管内1市4町で構成される根室管内教育旅行誘致推進協議会が首都圏・関西圏での商談会などに参加し、根室管内への教育旅行誘致を推進する。